

みんなにやさしいまち
心ゆたかなまち
のびゆくまち



会長あいさつ

若葉地区まちづくり推進計画を刊行するにあたりごあいさつを申し上げます。

若葉地区は、北西部に山林が多くあり南部になるにつれ田園、住宅地が広がる自然に恵まれた閑静な地域です。平成12年に現在の8町区が地区として設立後の歴史はまだ浅く、古くからある伝統文化的な行事などが少ないところから、これから住民みんなで知恵を出し合ってまちを造り上げていく地域であると思います。

私はこの地域の運営に関わって35年近くなりますが、事前に行った住民アンケートでわかるとおり、住民の高齢化による諸問題をはじめ、交通安全、防犯や環境対策など若葉地区にはいろんな課題があります。これから諸課題の解決に向け努力していくこととなりますが、まずはどのようにして住民同士の結びつきを強くするかということです。10年後を目指したこの推進計画の実現のため、まちづくり推進協議会とともに若い方からお年寄りまで、みんなが声を掛け合い人が交流する若葉地区にするため力を合わせていきましょう。

最後に、この推進計画策定のためにご協力いただいた皆様、設立準備会を含め長時間にわたりご審議いただいた委員の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

若葉地区まちづくり推進協議会 会長 岸川 善憲



目次

- 1 まちづくり推進計画について・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- 2 若葉地区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・P 2
- 3 若葉地区の現況マップ・・・・・・・・・・・・・・・・P 6
- 4 住民アンケート結果からみえる若葉地区の現状・・・・・・・・P 7
- 5 若葉地区の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・P10
- 6 まちづくりの基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・P10
- 7 まちづくり推進計画の実現に向けて・・・・・・・・P17
- 8 まちづくり推進計画策定までの経過・・・・・・・・P18

平成17年に、若葉小学校では防犯活動に携わるキャラクターを全校児童に募集し、その中から「わかまる君」が誕生しました。

若葉地区まちづくり推進協議会では「わかまる君」をイメージキャラクターとし、若葉地区のさまざまな活動に活躍の場を広げていきます。



わかまる君
(イメージキャラクター)

1 まちづくり推進計画について

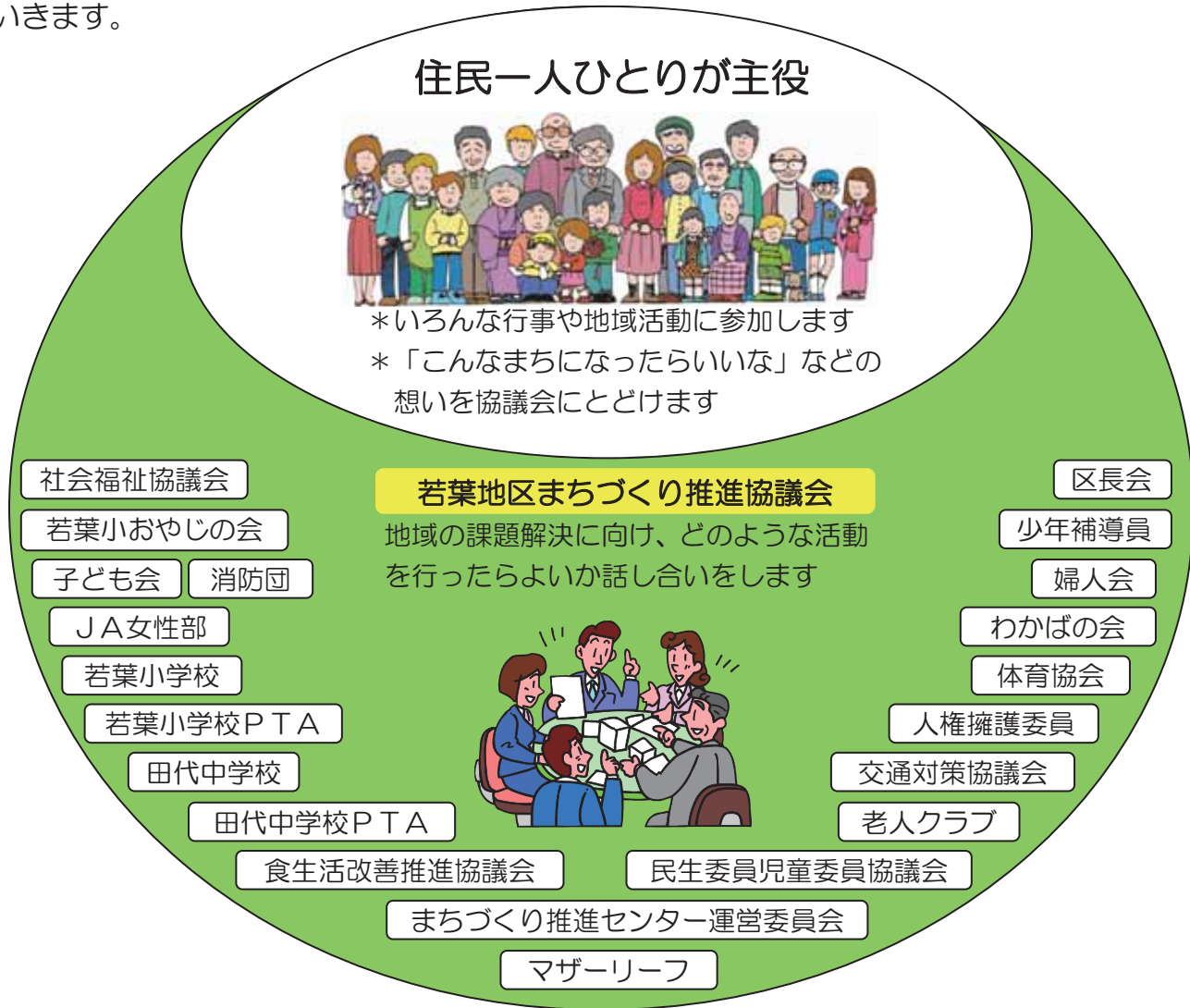
若葉地区まちづくり推進協議会は、若葉地区を「みんなにやさしいまち、心ゆたかなまち、のびゆくまち」とするために、様々な長所の活用や地域課題の解決を図り、明るく笑顔のある地域社会を築くことを目的として、平成24年2月に設立しました。

そして、この若葉地区まちづくり推進計画は、若葉地区の現状と課題をふまえ、若葉地区の将来像を明らかにし、その将来像を実現していくために、地域づくりの基本計画をまとめたものです。

推進計画策定にあたっては、地区の現状を把握するために、若葉地区の住民を対象にアンケートを実施するとともに、その結果をふまえ現地調査や話し合いを何度も重ねました。

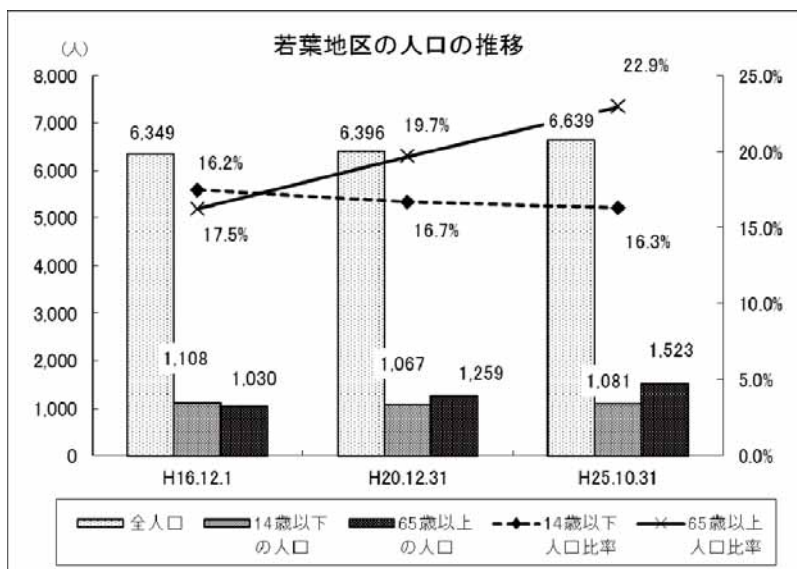
この推進計画を実行していくためには一部の人だけではなく、この若葉地区の住民一人ひとりが絆を深めながらまちづくりに参加し、将来像に向かって行動していくことが必要です。

なお、この推進計画の期間は、平成25年度から平成34年度までの10年間とします。ただし、地域の環境が大きく変化した場合は、その状況に応じて計画の見直しを行います。



2 若葉地区の概要

(1) 人口の推移



若葉地区の人口は年々増え続けていますが、65歳以上の人口比率の伸び率が高く、14歳以下の人口比率は減少傾向にあるため、さらに高齢化率は高くなることが推測されます。

(2) 若葉小学校建設と若葉地区設置について

当時、鳥栖北小学校校区および田代小学校校区では、住宅の増加や昭和47年5月に開通した鳥栖筑紫野道路（県道17号線）などの影響により、人口が増加することが見込まれることから、昭和53年4月に若葉小学校が新設されました。校名については、一般公募の中から採用され、「子どもの伸びゆく力を表すものを」という基準から、『若葉小学校』に決定されました。

その後、平成12年3月に若葉コミュニティセンター（現、若葉まちづくり推進センター）が開設され、地域の拠点となる施設ができたことから、若葉小学校校区を基本とした若葉地区が誕生しました。

◆若葉地区の8つの行政区◆

神辺町 萱方町 浅井町 柳区 古賀町 河内町 古賀団地 虹が丘町



(3) 若葉地区の自然と歴史

◆九千部山と周辺の自然林 (P6-MAP①)

佐賀県と福岡県にまたがる、市内最高峰の九千部山(848m)。山頂には展望台があり、晴れた日には有明海や博多湾までが一望できます。

九千部山から石谷山に至る九州自然遊歩道には、希少種となったブナが点在しています。九千部山は山麓のシイ林から中腹のカシ林、さらに頂上近くのブナ林までの間で自然林の群落形態として、ほぼ連続的にみることができます。

◆鳥栖市民の森 (『コカ・コーラウエスト鳥栖市民の森』 P6-MAP④)

昭和 52 年(1977)オープンの鳥栖市唯一の森林公園。海拔 200~300mにあり、330 種類の樹木・草本が混在する森です。

◆河内ダム (P6-MAP⑤)

昭和 46 年(1971) 竣工。

規模は当時県内 3 番目の大きさで、堤防部の高さは 35m、堤頂長 153m、有効貯水量 110 万 2000 m³です。

◆杓子ヶ峰 (P6-MAP⑥)

鳥栖市唯一の草原として学童の遠足やハイキングなどの場として親しまれています。

◆河内町大山祇神社 (P6-MAP③)

神社は集落奥部の小高い丘陵上に立地しており、創建年代は集落の成立と同じ時期と思われる。なお江戸時代には「山神社」と呼ばれていたことが嘉永 4 年(1851) 建立の鳥居の扁額から想定されます。現在の社殿は 19 世紀中頃の建立とみられ、また境内の現人社には、神様が祭られている石にワラツト(藁苞)で覆いがされており、土地の民俗としての独特のたたずまいを見せています。境内は「ふるさとの名木・古木」選定の 9 本(イチヨウ〈2 本〉・イヌマキ・カヤ・ケヤキ〈2 本〉・スギ・モミジ・ヤマモミジ)が社殿を覆うように群生しています。

近年では紅葉の時期に合わせて、河内やまびこ会をはじめ地元住民が中心となって夜間ライトアップが行われています。また、神社手前の刈田に仮設舞台を設けて能の仕舞・クラシックコンサート・子どもたちのコーラスなどが催されています。

平成 21 年 11 月 25 日、神社を含む周辺が佐賀県遺産に認定されました。



大山祇神社



大山祇神社(ライトアップ)



ワラツト

◆神辺町老松神社（P6-MAP⑨）

天徳元年（957）山城国北野より勧請され、もとは現在の池田地区にありましたが、火災のため現在の地に移転したとされています。

神辺町の獅子舞は、老松神社に3年毎の4月の日曜日に奉納されています。起源については明らかではありませんが、寛政元年（1798）に始められ、江戸時代から明治にかけては曾根崎町老松神社にも奉納されていたようです。3年に一度というのは、老松神社の春祭として行われていた「千灯籠」が3年に一度は「大千灯籠」となることから、その時に獅子舞を奉納していたことによるといわれています。

また、町内の一部の地区ではモグラ打ち、芋名月、豆名月、ソーラー投げなどの伝統行事が行われています。



◆萱方町老松神社（P6-MAP⑩）

永久元年（1113）太宰府から勧請されたものとされています。神社にある絵馬の題材には、太宰府天満宮との関係から天神図や、八幡縁起に関するものが比較的多いとされていますが、この絵馬には西洋風の軍服姿の兵士が隊列をなす様子が描かれています。額の奉納銘には明治7年1月と記されていますが、画家や題材は不明です。



絵馬の行軍図



【行軍図の一部拡大】

◆古賀町老松神社（P6-MAP⑪）

永久元年（1113）太宰府から勧請されたものとされています。神社では戦前（昭和17年ごろまで）旧暦の7月13日から15日まで「盆祭り」という大変珍しい行事が行われていました。「盆祭り」というのは、小学生の男子が舞台を作り、その上でわら人形を操る素朴な催しです。舞台に立つ人形は2体、麦わらで作ったもので、一人は武人風（身長約1m）、もう一人は婦人でした。

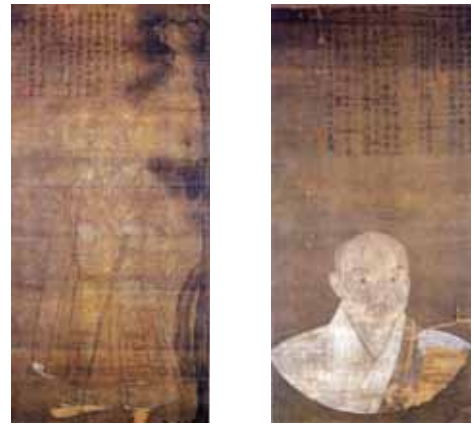


盆祭りに使用していた人形の一部

◆臨済宗萬歳寺（P6-MAP②）

建久 9 年（1198）開基。天正年間（1573～1592）今泉より移転したとの伝説があり、国重要文化財 2 幅、県重要文化財（袈裟）、市重要文化財 4 像があります。

萬歳寺は、以亨得謙（いこうとくけん）禅師によって臨済宗の寺院として創建されました。以亨得謙の最晩年の頃の姿とされ、座禅中の眠気を覚ますための樹木で瞑想しつつ静かに歩む「経行（けいひん）」という修行を行う姿が描かれています。見心来復（けんしんらいふく）は、以亨得謙の師にあたり、中国の高僧です。仏法を伝授した証として師が弟子に授けた頂相（ちんそう）と呼ばれるものです。



けんほんちよしょくけんしんらいふくそう
右) 絹本著色 見心来復像

けんほんぼくがたんさいいこうとくけんそう
左) 絹本墨画淡彩以亨得謙像

（国指定重要文化財）



黒麻地二十五条袈裟
（佐賀県指定重要文化財）

袈裟は佐賀県内に所蔵されている袈裟のなかで最も古く、佐賀県の重要文化財に指定されています。着装時に緒を結ぶ佩環（はいかん）の座に以亨得謙の号である「悚牧（らんぼく）」銘の刺繍があります。中世の日本には見られない刺繍の技法が用いられており、中国から持ち帰ったものと思われます。

そのほか、鳥栖市重要文化財として萬歳寺創建当時から伝わる釈迦如来像、傅大士像（ふたいしそう）、地像菩薩像、誕生仏の仏像 4 体があります。

◆遺跡（P6-MAP⑧⑩）

神辺町は、神辺荘として平安時代からつづく村落です。町には多くの古墳や集落跡が確認され、神山古墳からは金銀装飾付太刀が出土しています。また、庚申堂塚古墳は県指定史跡に指定されています。

また、古賀町には、縄文時代から奈良時代にかけての遺跡が、鳥栖筑紫野道路周辺や若葉小学校周辺に確認されています。当時の住居跡や縄文土器や弥生土器など多数出土し、若葉小学校西側には 6 世紀末に築造された稲塚古墳（直径 30m）をみることができます。

※神山古墳は、現在古墳として残っていないため、見ることはできません。



神山古墳出土金銀装飾付太刀



稲塚古墳

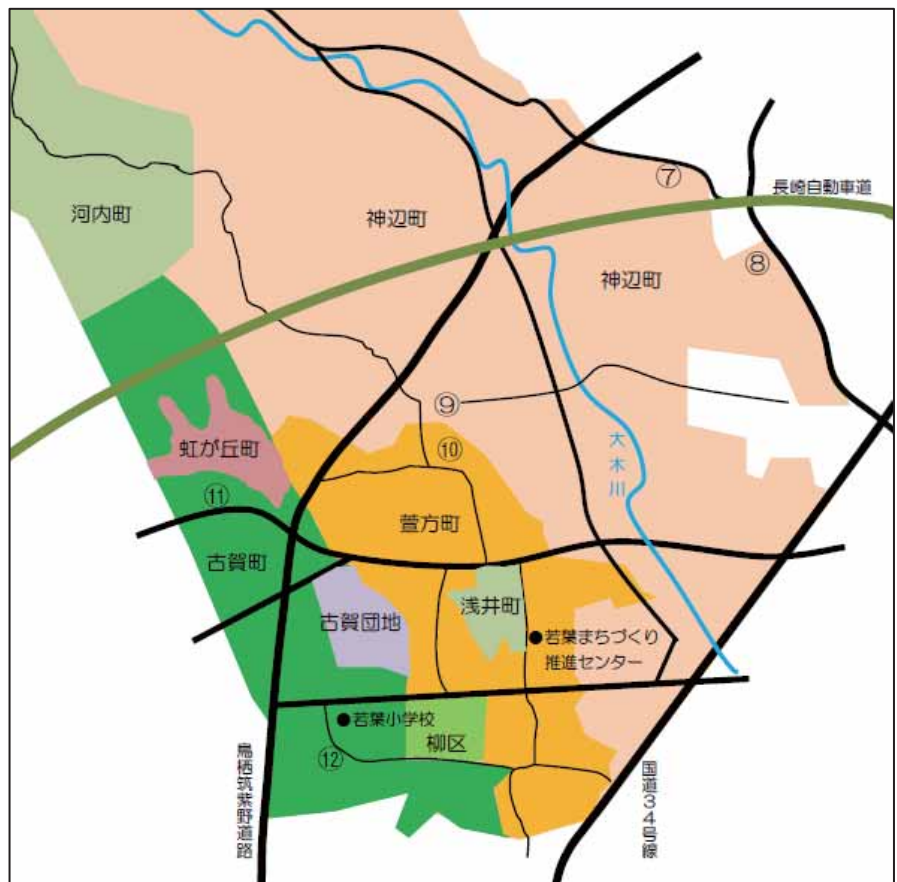
3 若葉地区の現況マップ



- ①九千部山
- ②臨濟宗萬歳寺
- ③河内町大山祇神社
- ④鳥栖市民の森
(コカ・コーラウエスト鳥栖市民の森)
- ⑤河内ダム
- ⑥杓子ヶ峰



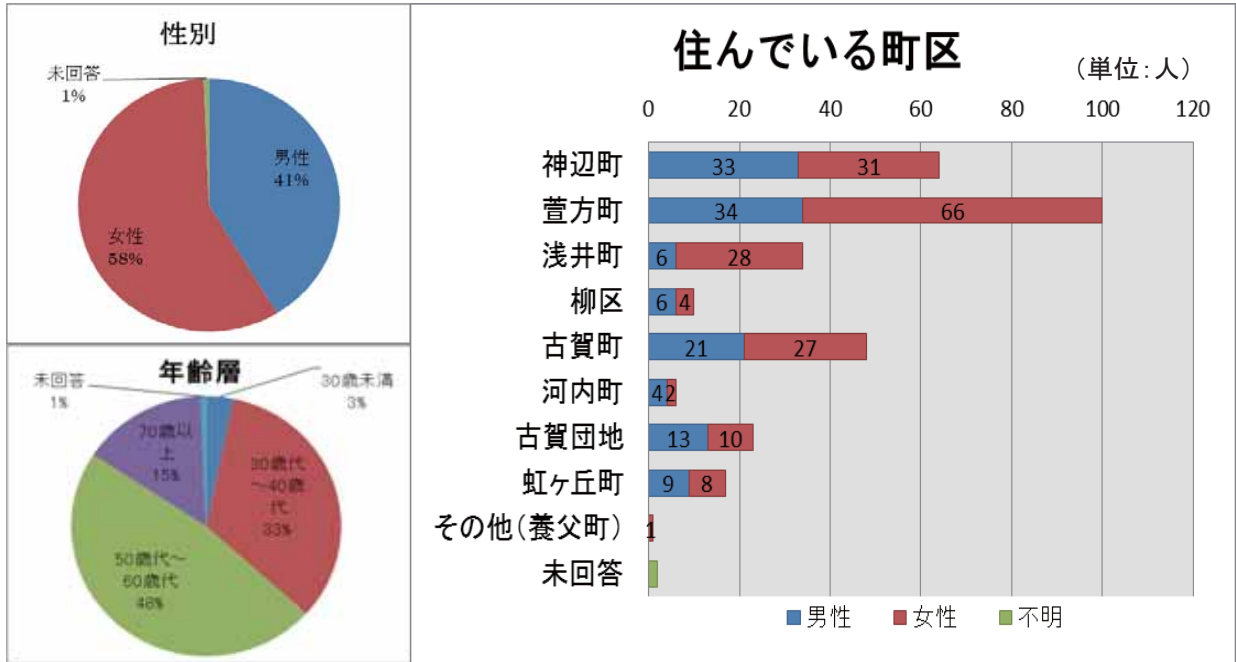
- ⑦くすり博物館
- ⑧庚申堂塚古墳
- ⑨神辺町老松神社
- ⑩萱方町老松神社
- ⑪古賀町老松神社
- ⑫稲塚古墳



4 住民アンケート結果からみえる若葉地区の現状

若葉地区の現状や課題などを把握するため、平成24年8月から9月にかけて住民にアンケート調査を実施しました。319件のうち、306件が回収され95.9%の回答が得られました。

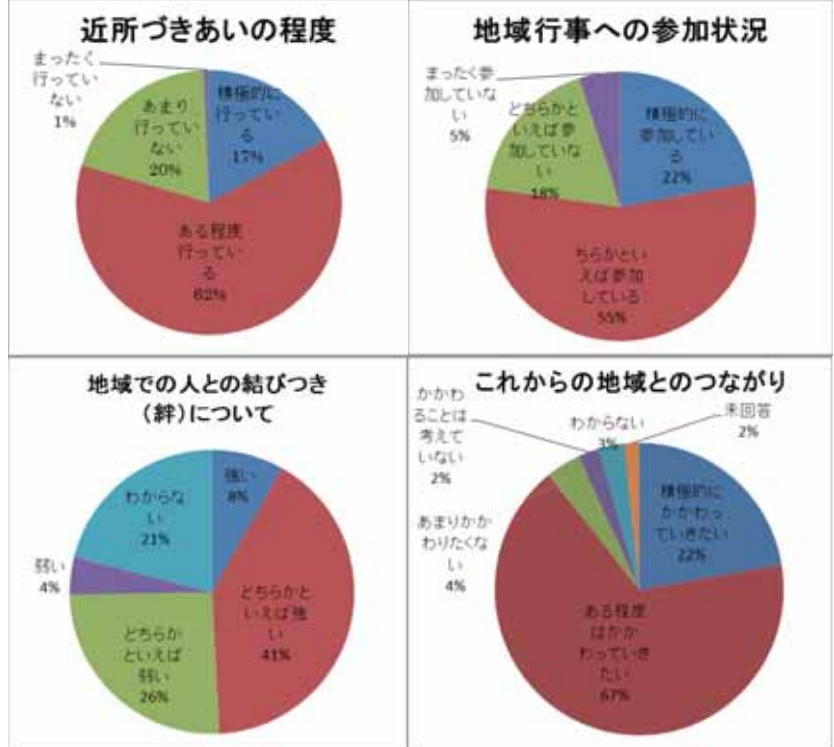
□アンケートの概要



□地域に対する意識

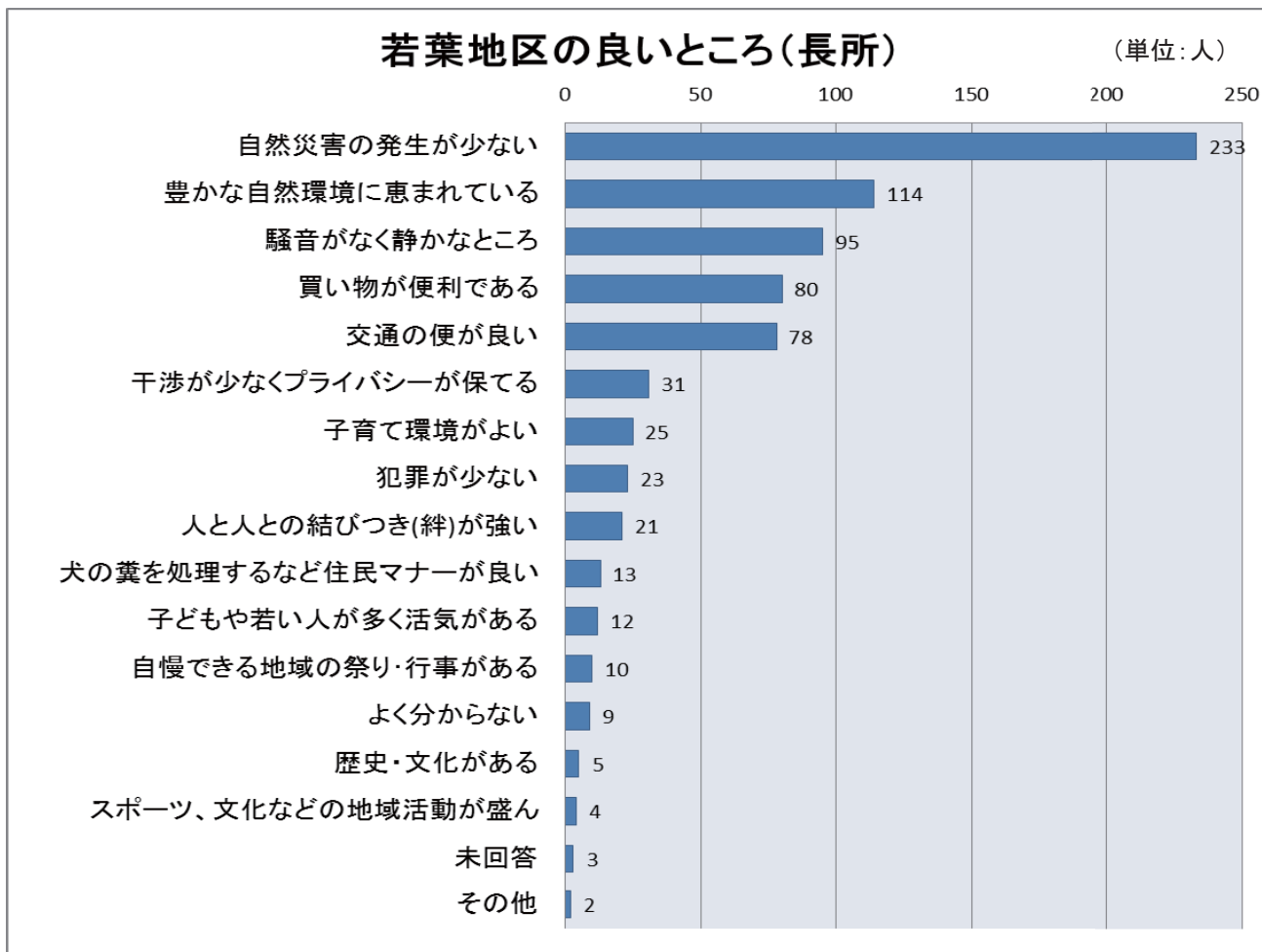
「近所づきあいをどの程度行っていますか」という質問に対し、行っている方が79%で、「地域行事への程度参加されていますか」という質問に対し、参加している方が77%でした。

地域での人との結びつきについては、約半数の方が強いと感じており、これからの地域とのつながりについては、約9割の方が関わっていきたいと答えています。



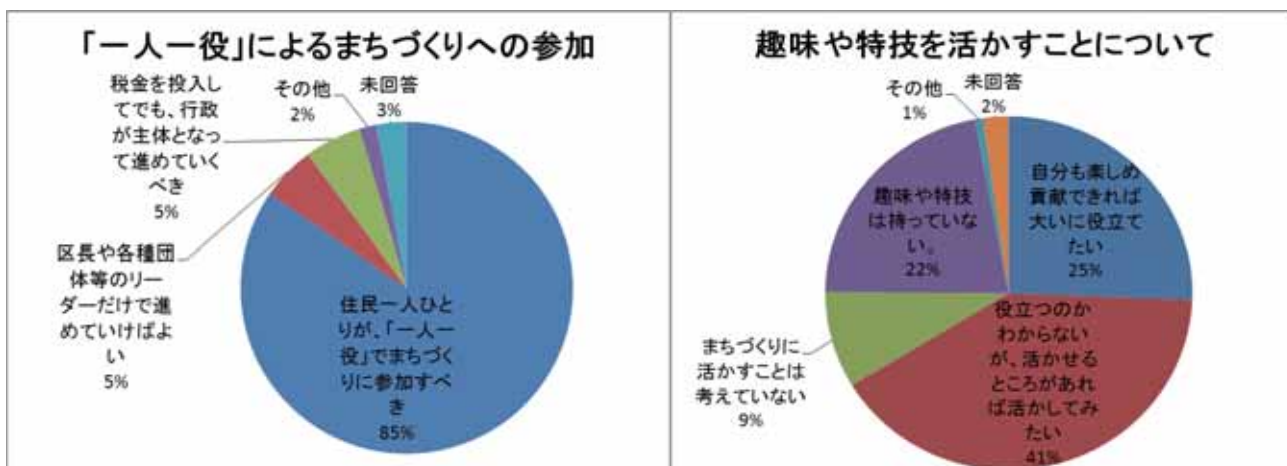
□若葉地区の良いところ（長所）

「自然災害の発生が少ない」と回答した方が最も多く、次に「豊かな自然環境に恵まれているところ」「騒音がなく静かなところ」となっており、住環境の良さが長所として多くあがっています。 ※3つ以内選択



□まちづくりへのかかわりについて

85%の方が、住民一人ひとりが「一人一役」を担う形で参加すべきと答えています。また趣味や特技を活かすことについては、66%の方が「大いに役立てたい」「活かせるところがあれば活かしてみたい」と考えており、地域に住んでいる人材を有効に活用していくことが必要です。



□若葉地区の課題

「地域活動を担う人材（役員等）が不足している」が最も多く、次に「住民同士の結びつき（絆）が薄れつつある」となっています。人づくりやコミュニティの希薄化への対応が求められており、地域活動に参加しやすい環境をつくるなどの工夫が必要です。

ゴミのポイ捨てやペットの糞の放置などの住民マナーの低下は、若葉地区の長所である豊かな自然環境を守っていくためにも、環境美化意識の向上を図る対策が必要です。

高齢化が進む中、高齢者の生きがい対策では、高齢者の活躍の場をつくるなどの取り組みが必要です。

また、通学路などでの不審者、空き巣などへの防犯対策、交通安全や災害時の対応に対する不安があり、安全安心に対する取り組みが必要です。 ※3つ以内選択



5 若葉地区の将来像

みんなにやさしいまち、
心ゆたかなまち、
のびゆくまち

若葉地区は、若葉小学校を中心として住宅地が広がり、北西部には九千部山や鳥栖市民の森などの豊かな自然に恵まれている地域です。

この地域性を活かし、豊かな自然環境や、歴史、文化を次の世代に引き継いでいくことは私たちの大切な責務です。私たちは、自らの地域を見つめなおし、若葉地区の長所を活かしながら課題解決に向けて取り組んでいかなければなりません。

これからのまちづくりは、**地域に暮らす住民一人ひとりが主役**です。「一人でも多くの住民に、まちづくりに関心を持って参加してもらえる」「参加者一人ひとりが楽しいと感じてもらえる」「若葉地区に住んでいる人や訪れた人が、少しでも若葉地区の魅力を感じてもらえる」そのような活動をとおして、「みんなにやさしいまち、心ゆたかなまち、のびゆくまち」の実現を目指します。



6 まちづくりの基本計画

住民アンケート結果などを基に、現在の若葉地区が抱えている主な課題を次の5つに絞りこみました。そして、5つの主な課題ごとに若葉地区の将来像の実現に向けての基本テーマを設定し、その基本テーマに沿って各種活動を行っていきます。

- | | | |
|-----------------|---|----------------------------|
| ①安全・安心に対する不安 | ⇒ | 安全・安心の住み良いまちづくり |
| ②住民同士のつながり | ⇒ | あいさつのできるまちづくり |
| ③環境美化に対する意識の低下 | ⇒ | 豊かな自然を活かしたきれいなまちづくり |
| ④高齢者の生きがい対策 | ⇒ | 若い人から高齢者まで楽しく集い明るく元気なまちづくり |
| ⑤地域リーダー不足に対する不安 | ⇒ | 生きがいや希望をもって暮らせるまちづくり |

《将来像》

《まちづくりの基本テーマ》

《取組内容》

やさしいまち

安全・安心の住み良いまちづくり

あいさつのできるまちづくり

防犯対策活動

防災対策活動

交通安全対策活動

あいさつ・声かけ活動

心ゆたかなまち

豊かな自然を活かしたきれいなまちづくり

景観美化活動

環境マナー向上活動

伝統行事継承活動

のびゆくまち

若い人から高齢者まで楽しく集い明るく元気なまちづくり

生きがいや希望をもって暮らせるまちづくり

高齢者支援活動

子育て支援活動

世代間交流活動

健康づくり活動

(1) 安全・安心の住み良いまちづくり

【現状と課題】

若葉地区では、自然災害が少ない、交通の便が良いなどの住環境のよさが評価されている一方で、空き巣や通学路での不審者、交通量の多さからの交通安全への不安なども抱えています。

【今後の方向性】

児童・生徒をはじめ高齢者などの見守りや、地区交通安全対策協議会等と連携し交通安全対策等を通じて、事故に合わない、事故を起こさない安全安心なまちづくりに取り組みます。

取組1) 防犯対策活動

- ・地域住民や登下校時の児童の見守り活動
- ・子ども110番の家の充実とマップづくり
- ・夜間パトロールの実施

これまで取り組んでいる活動	
登下校時安全見守り	
子ども110番の家	
夜間パトロール	

取組2) 防災対策活動

- ・危険個所の確認・点検活動
- ・救命講習会の実施
- ・自主防災組織の設立支援
- ・火災予防運動期間中の戸締り、火の用心の周知活動

これまで取り組んでいる活動	
点検・火災消火活動	救命講習
年末警戒	火災予防運動期間中の巡回

取組3) 交通安全対策活動

- ・通学路危険個所の確認、点検活動
- ・自転車利用者マナーアップの徹底（子ども自転車競技会）

これまで取り組んでいる活動	
交通安全指導	交通安全県民運動
通学路危険個所確認	子ども自転車競技会



(2) あいさつのできるまちづくり

【現状と課題】

若葉地区では、周りからの干渉が少なく、プライバシーが保たれていると感じる一方で、住民同士の結びつきが薄れつつあり、地域コミュニティの希薄化を心配しています。

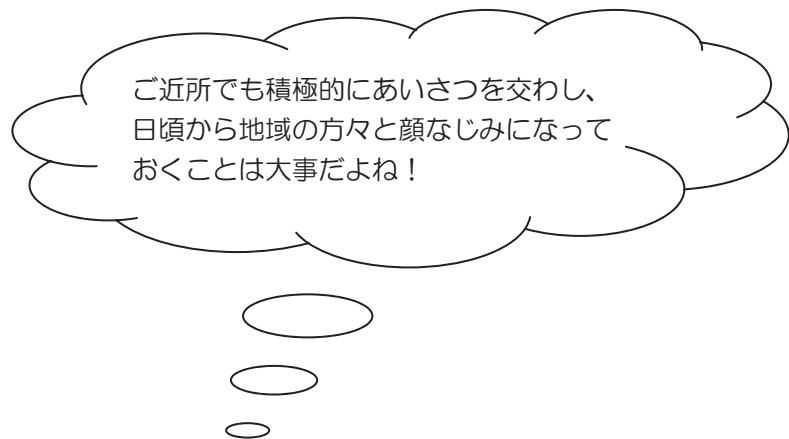
【今後の方向性】

一人ひとりが個人のプライバシーを尊重しつつ、隣近所、町区、地域が強い絆で結びついていることが大切であり、住民同士のあいさつの声がまちのいろんなところで飛び交うような、住みよいまちづくりに取り組みます。

取組1) あいさつ・声かけ活動

- ・あいさつ・声かけ運動

これまで取り組んでいる活動
登校時のあいさつ運動



(3) 豊かな自然を活かしたきれいなまちづくり

【現状と課題】

若葉地区では、豊かな自然環境に恵まれていることが評価されている一方で、ゴミや犬の糞などが道路・広場などに散乱していることや、自然環境、地域行事、歴史や文化などがまちづくりに十分に活かされていないことが課題としてあげられます。

【今後の方向性】

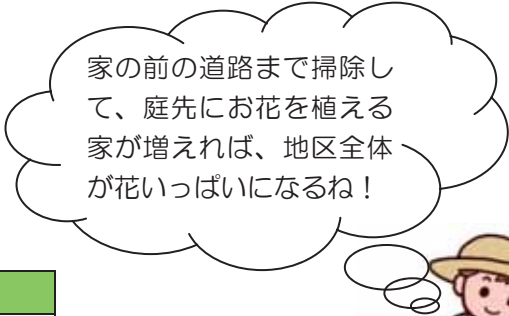
豊かな自然環境を守るためにも不法投棄を減らし、環境に対する意識向上に努め、きれいなまちづくりに取り組みます。

また、若葉地区内には国・県・市の指定を受けた重要文化財や、佐賀県遺産に認定された地域があります。また、各町区ではさまざまな伝統行事もおこなわれており、それらを活かしたまちづくりに取り組みます。

取組1) 景観美化活動

- ・ 清掃活動
- ・ 花いっぱい活動
- ・ 不法投棄防止活動

これまで取り組んでいる活動	
校内美化作業	一斉美化活動
川の汚染調査	河川清掃
花壇づくり	

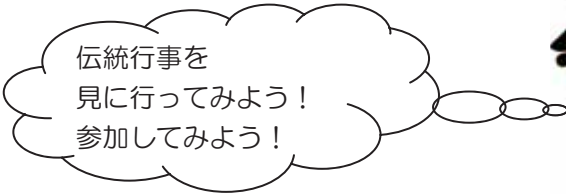


取組2) 環境マナー向上活動

- ・ ちらし配布や看板などの設置
- ・ ゴミだし、資源回収の徹底周知
- ・ ペットの糞防止対策活動



これまで取り組んでいる活動	
ダンボールコンポスト作り	廃油せっけん作り



取組3) 伝統行事継承活動

- ・ 伝統行事の周知
- ・ 伝承遊びの指導



《伝統行事》

お宮のまつり、ほんげんぎょう、モグラ打ち、芋名月、豆名月、ソーラー投げ、つご焚き（12月31日）、獅子舞、大山祇神社、しめ縄作り、盆おどり

(4) 若い人から高齢者まで楽しく集い明るく元気なまちづくり

【現状と課題】

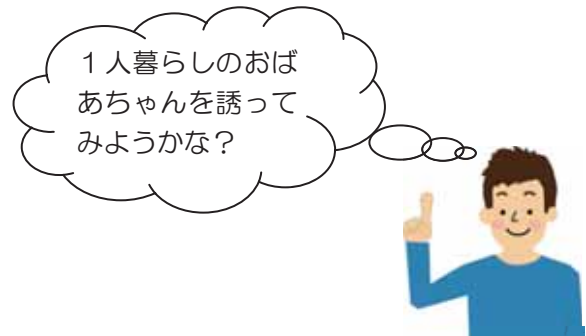
若葉地区でも高齢化の伸び率は高く、今後は65歳以上の高齢者が4人に1人の割合になっていくと推測されます。アンケートの結果からも高齢者の生きがい対策が課題となっているほか、介護に関する心配や不安があり、今後深刻化していく高齢者対策は急務となっています。

【今後の方向性】

高齢化が進み独居高齢者が孤立しないよう、地区社会福祉協議会等と連携しながら地域の方々とのかかわりを深めていきます。趣味や特技をまちづくりに活かすことについては、大いに役立てたいと考えている方もおられるため、そのような人材情報を集約し、地域一人ひとりがまちづくりに関われる機会を提供していきます。また、地区青少年育成市民会議等と連携しながら、次世代を担う子どもたちを地域で育て、楽しく集い明るく元気なまちづくりに取り組みます。

取組1) 高齢者支援活動

- いきいきサロン、ふれあい会食会等の充実
- 高齢者の生活支援
- 高齢者及び独居高齢者の見守り
- 高齢者大学の開催



これまで取り組んでいる活動		
いきいきサロン	ふれあい会食会	高齢者及び独居高齢者の見守り
敬老会	伝達料理	生活習慣病予防の学習会

取組2) 子育て支援活動

- 子ども交流の拡大
- 家庭教育の啓発
- 親へのサポート支援



これまで取り組んでいる活動	
読み聞かせ	球技大会
食育学習会	田代中校区4校交流事業
親子ふれあい活動	マラソン大会
体験交流	家庭教育学級
もちつき大会	子どもクラブ活動



取組3) 世代間交流活動

- ・ 伝承あそびの実施
- ・ 世代間交流活動の機会の創出
- ・ 文化祭の充実



資格はなにもないけど、竹馬や竹とんぼは作れるよ！

これまで取り組んでいる活動	
親子ふれあい活動	文化祭
グラウンドゴルフ交流会	



(5) 生きがいや希望をもって暮らせるまちづくり

【現状と課題】

若葉地区では地域活動を担う人材（役員等）が不足していることが、課題としてあげられており、地域活動への積極的な参加促進と地域リーダーの育成が求められています。また、健康づくりのため日頃から運動を行っている人は約6割以上おられるものの、まったく行っていない方が約4割いることも事実であり、心身ともに健康であることが大切です。

【今後の方向性】

まちづくり推進センターで開催される各種講座等への参加を促進するとともに、各自が持つ趣味や特技などを地域活動に活かしながら、リーダー育成に努めます。また、地区体育協会等と連携しながら、スポーツを推進し、高齢者や障がい者などすべての住民が人と人とのふれあいの中で活動していけるような地域づくりを目指します。

取組1) 健康づくり活動

- ・ 生活習慣病や健康講座などの学習会の開催
- ・ オリエンテーリングで健康ウォーキング
- ・ 運動会の開催
- ・ 各種スポーツ大会の開催

これまで取り組んでいる活動		
グラウンドゴルフ大会	伝達料理教室	ソフトバレーボール大会
球技大会	健康講座の開催	マラソン大会
レクリエーション	生活習慣病の学習会	少年野球大会
ペタンク大会	歳末助け合い福祉まつり	運動会・市民体育大会

体を動かすって気持ちいいよね！仲間もできるし、楽しいね！

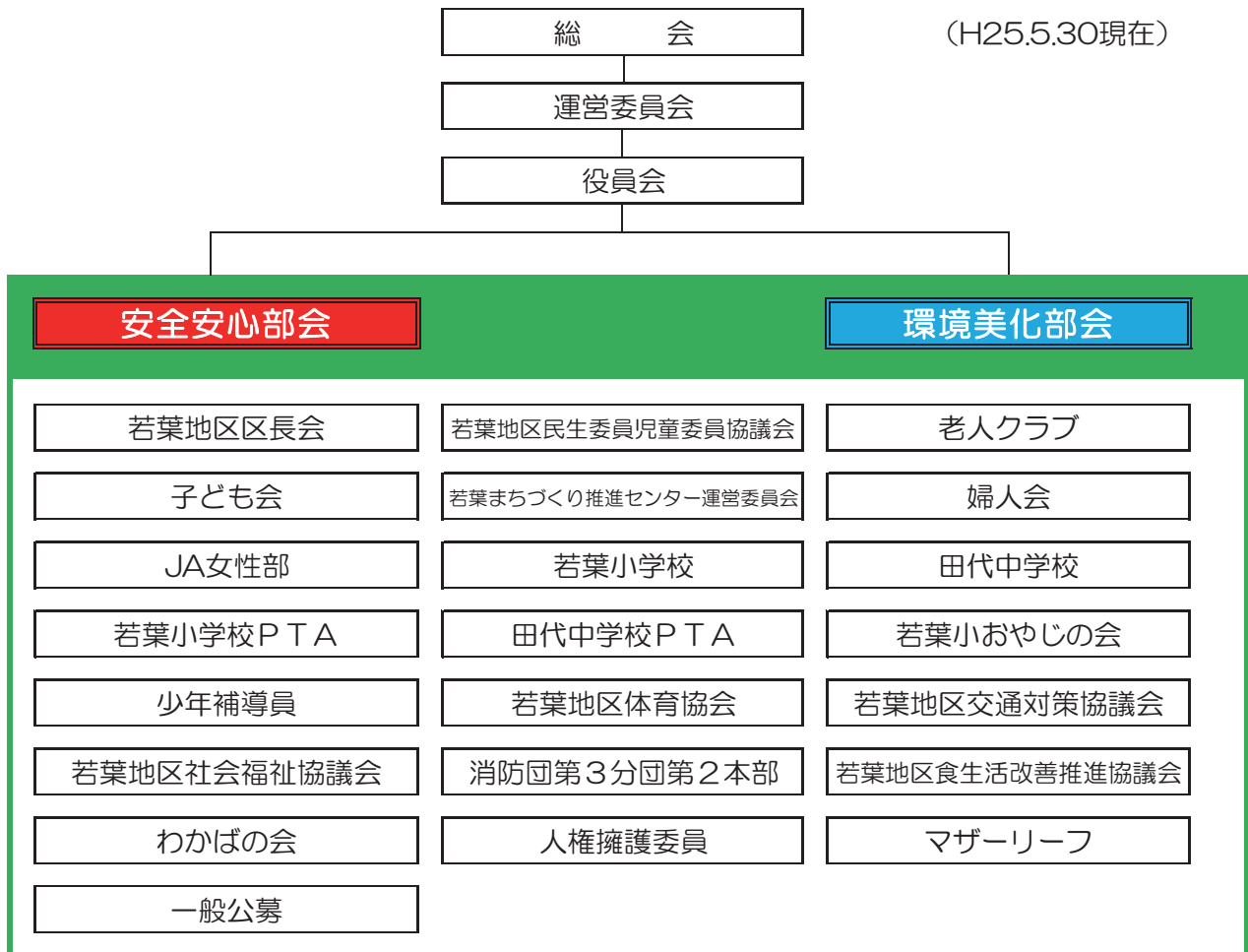


7 まちづくり推進計画の実現に向けて

若葉地区まちづくり推進計画の推進は、現在の若葉地区まちづくり推進協議会の組織を基本とし、各構成団体と協力しながら実施していきます。

ただし、必要があれば、今後のまちづくり活動の進捗状況に応じて、活動に適した組織の見直しを行います。

《若葉地区まちづくり推進協議会組織図》



住民一人ひとりが主役



若葉地区のみなさん一人ひとりが趣味や特技などを活かしながら、できるときにできることを実行し、若葉で生まれ、若葉で育ち、若葉で暮らしていることを誇りに思える地域にしていきたいと思います。

8 まちづくり推進計画策定までの経過

推進計画の策定にあたり、円滑かつ効率的に進めていくため専門委員会を設置し、協議を行ってきました。

《平成23年度》 2月 若葉地区まちづくり推進協議会設立

《平成24年度》

時 期	会議内容等
6月	定期総会で「若葉地区まちづくり推進計画策定委員会」設置を承認。
6月～7月 (第1回～第2回)	策定方法、住民アンケート内容及び実施時期等の検討。 *7月各専門部会でも住民アンケート内容の検討。
8月～9月	まちづくりに関する住民アンケート実施。 《319部を配布し、306部回収（回収率95.9%）》
8月～2月 (第3回～第8回)	住民アンケート回収作業、集計及び結果報告。 *10月専門部会でアンケート集計結果速報報告 *1月専門部会でアンケート集計結果最終報告、アンケート結果を踏まえた課題・長所の意見交換、各団体事業調査の実施。 推進計画策定スケジュールの検討、平成25年度事業計画・予算、今後の各専門部会の進め方についての検討。

《平成25年度》

時 期	会議内容等
6月(第1回)	作業内容及び策定スケジュール等の確認。
7月(第2回)	「将来像」「基本テーマ」「取組内容」の検討。 *7月各専門部会で、「将来像」「基本テーマ」「取組内容」についての進捗状況報告及び意見の集約。
8月(第3回)	「取組内容」の整理及び、今後の具体的な取組内容についての検討。
9月(第4回)	推進計画（素案）についての検討。
10月(第5回)	具体的な取組内容についての検討、推進計画（素案）の整理。
11月(第6回)	具体的な取組内容及びイメージキャラクターの検討、推進計画（素案）の整理、推進計画承認までのスケジュール確認。
12月(第7回)	推進計画（案）の検討。 *12月各専門部会で、推進計画（素案）の報告及び意見の集約。
1月	役員会、運営委員会を経て、臨時総会で「若葉地区まちづくり推進計画（案）」を承認。



【編集協力】

表紙イラスト：小川洋義さん（古賀町）
挿 絵：若葉絵手紙教室
歴 史 協 力：鳥栖郷土研究会



【編集・発行】
平成26年3月発行
若葉地区まちづくり推進協議会
〒841-0081
鳥栖市萱方町116番地2
(若葉まちづくり推進センター内)
TEL・FAX：0942-84-6122

